

令和 6 年度防鹿柵設置結果

令和 4 年度の農業被害アンケート調査結果を踏まえて検討した防鹿柵の設置計画に基づき、防鹿柵の設置優先度が最も高かった鼓坂地区において、具体的な場所の選定を行った結果、令和 6 年度は奈良阪町において防鹿柵を設置することとした。

令和 6 年度の防鹿柵は、地元との調整結果を踏まえ、R05-1 の西側 (R06-1) に設置した。設置場所を図 1、図 2 に示す。令和 7 年 3 月に総延長 317m を施工した。

R06-1 は水田及び畑となっており、R05-1 の続きから柵を延長する設計とした。R05-1 は今年度以降に柵を延長設置する前提のもと農地を囲う設計としていなかった。このため、今年度の効果検証調査では、被害は軽減したものの、シカに侵入され農作物被害が継続して発生していた。

今回の R06-1 の設置により、R05-1 と合わせて柵南側の農地をほぼ囲う形となる。ただし、西側については今年度に柵を設置できないため、令和 7 年度以降に設置する (図 2)。令和 7 年度の設置完了以降は、防鹿柵・既設構造物・農地南側を流れる大きな水路により、農地を囲う形となる。また、柵の設置後に現地での効果検証調査を実施する予定である。

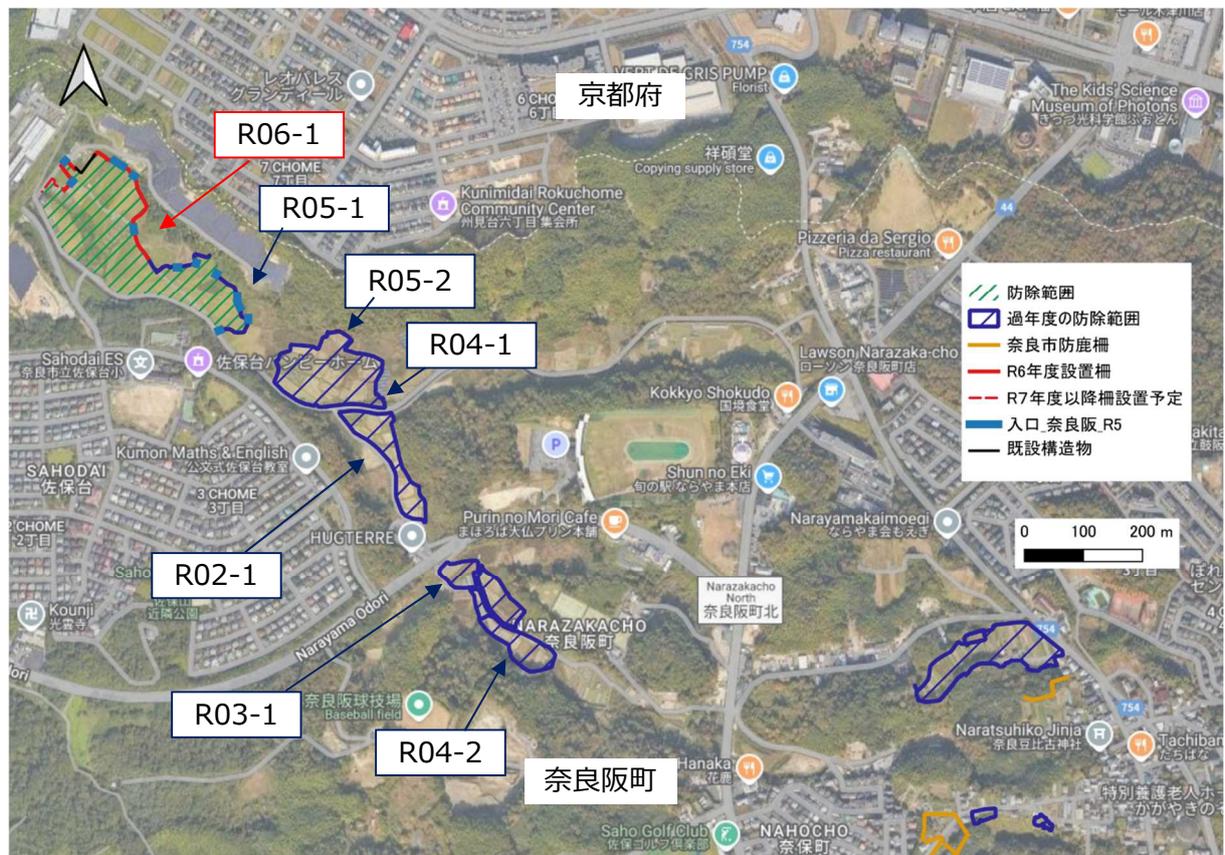


図 1 令和 6 年度防鹿柵設置場所 (赤線範囲)

出典：GoogleSatellite に加筆

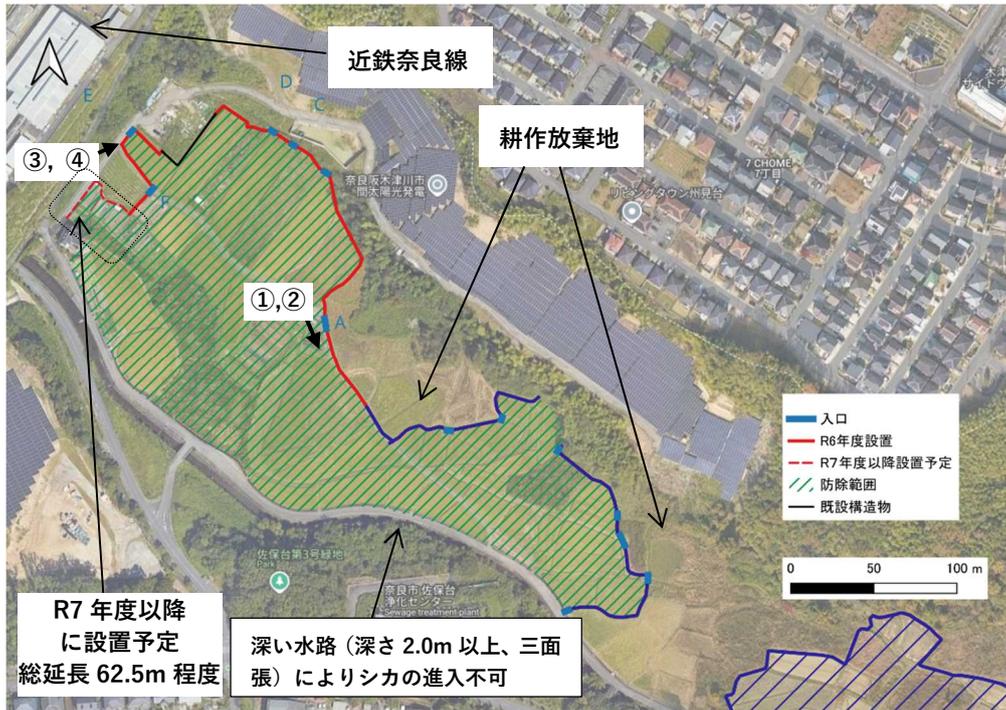


図 2 防鹿柵の線形 (R06-1) ※図中番号は写真 1 の番号に対応



写真 1 防鹿柵設置箇所の状況 (撮影月：令和 7 年 3 月)